

明治大学情報コミュニケーション学部

2022 年度国際交流（インドシナ）募集要項

交流概要	2022 年度は、 <u>海外渡航を含まず、派遣研修に代えてオンラインでの交流を実施</u> します。 SDGs のうち環境問題を交流テーマに据えて、留学生とともに考えます。 交流相手 タイ・ラオス・ベトナム で日本語を学ぶ学生 15~30 名程度
募集人数	情報コミュニケーション学部 1-4 年生 20 名程度
交流実施期間(予定)	2022 年 6 月 11 日(土)、8 月 2 日(月)~8 月 5 日(金)
事前・学習等	5 月下旬~7 月上旬の土曜日など、授業は不定期に行われます。 詳細は後述の日程参照
研修費用	フィールドワーク先(埼玉県入間郡 石坂産業(株))、所属キャンパス以外への交通費は自己負担。また、プログラムでのオンライン交流は Zoom を使うため、カメラ・マイクを備えたノート PC など、学生自身が自由に使える PC とインターネット接続が必要となります。
応募期間	4 月 11 日(月)~4 月 18 日(月) 午前 9 時 ※詳細は「応募から参加までの流れ」を参照
選考方法	応募者多数の場合には、下記のような点を考慮し、応募フォームへの回答を考慮し選考する。 ※ 選考の際、学年のバランス、海外留学の具体的な希望の有無なども考慮する。



プログラムについて

目的

本プログラムは学生が日本語を学ぶ東南アジアの学生とともに地球規模課題への日本の取り組みを共に学習し、自国の強みや課題を自分ごととして考えていけるようになることを目的としています。2022 年度、石坂産業でのフィールドワークを実施します。所沢ダイオキシン騒動の報道被害を契機に地域社会での里山再生活動を通じてリサイクル業の信頼回復をはかり、今や 97%以上のリサイクルを達成し、廃棄物処理業界の改善や社会啓発に取り組んでいます。研修を通じて環境問題と SDGs、企業の社会的責任、メディア・リテラシーなどを学ぶことができます。

あわせて交流先の社会や文化を学び、日本と ASEAN とのパートナーシップについて考える講義を含みます。タイ・ベトナム・ラオスの協定校から参加登録した意欲あふれる留学生と親密な交流ができるでしょう。どれだけ深く親しい交流ができるかは、参加学生の意欲次第です。海外研修や留学のための最初一歩としても活用してください。

使用言語

主として**日本語**。主たる交流相手は、タイ、ベトナム、ラオスの大学で日本語を学ぶ学生です。これまで国際交流に興味はあったものの、いま一步踏み出せなかった人も、これをきっかけに国境を越えた交流を楽しみ、「国際化」「グローバル化」を身近なものにする機会としてください。

交流大学について

シーナカリンウィロート大学 (SWU) は、首都バンコクにあり、シリントン王女が大学院を修了なさったことでも知られる名門の国立大学です。駐在員らが多数居住する閑静住宅街に隣接する大学で治安上も不安がありません。

URL : <http://en.hu.swu.ac.th/>

モンクット王ラカバン工科大学 (KMITL) は、タイの理工系のトップスクールの一つです。バンコク郊外 (30km ほど) にある広大な敷地をもつ大学です。交流先は教養学部で日本語を専攻学生たちです。

URL : <http://www.kmitl.ac.th/en/main.php>

ベトナム国家大学ハノイ外国語大学は、教育訓練省大臣が学長を務めるベトナム国家大学群の1つで外国語大学ではベトナムで最も優秀な大学になります。

ハノイ大学は、ハノイ地区の代表的な私立大学で外国語・観光・金融・会計・経営・情報などの学部からなる総合大学です。

ラオス国家大学 (NUOL) は、タイの隣国ラオスのトップスクールです。ラオスは最後発途上国で社会主義国であり、タイとは社会・経済状況が全く異なります。交流を通してアセアンの国々の多様性を学べます。

URL : <http://www.nuol.edu.la/index.php/en/>

プログラムの費用

交通費やインターネット接続費用などは自己負担となります。

授業日程表(予定)


月日	予定	授業方法
5月14日(土)	イントロダクション ASEAN 概説・短期学生交流について	対面
5月28日(土)	地球規模課題について考える ※ オンデマンド教材による課題学習を含む	対面
6月4日(土) 終日	環境問題に関するフィールドワーク (埼玉県入間郡 石坂産業) https://ishizaka-group.co.jp ※ フィールドワークで学んだことを後日、東南アジアの学生に発表・説明してもらいます。	外部研修
6月11日(土) 3時間程度	【オンライン交流①】 日・越・タイ(・ラオス)学生での日本語による異文化交流 ※ 顔合わせ・バディ(*)の配置、互いの連絡方法の確立を含む。 東南アジアの学生と混成チームでグループ課題に取り組む宿題(8月の交流時に発表。どのように作業を進めるかは各グループで決めてもらう)もありうる。課題内容は各協定校と調整中。 *「バディ」・・・本年度は、SNSなどを利用した交流相手で、本授業の課題に取り組む際の相談相手の位置づけである。参加学生ひとりあたり、1~2名の東南アジアの学生と組むことになる。相手にとっては日本語学習の貴重な機会であり、積極的なメッセージ交換が期待されている。	オンライン (ZOOM)

7月2日(土)・9日(土) 8月1日(月)	【交流のための事前学習】 タイの政治・経済・社会状況について ベトナムの政治・経済・社会状況について	対面
8月2日(土) ～8月5日(土) うち3日間 1日3時間程度	【オンライン交流②】 ・互いの言葉や文化を知る(各国学生による文化紹介) ・環境問題フィールドワーク報告と意見交換 ・学生交流で得たこと(海外学生による発表を中心に) ・日・越・タイ(・ラオス)学生による合同発表など	オンライン (ZOOM)
10月23日(日) 時間未定(2時間程度)	【成果報告】 ホームカミングデーでの成果報告(海外学生(有志)はリモート参加)	対面

注意

- ※ 単位修得のためには、オンライン交流の他に、交流相手国の事情や日本との関係を学ぶための講義を受講する必要があります。また、交流成果を発表するための報告会も行います(出席必須)。事前事後学習は、基本的に対面形式で実施します。
- ※ 3カ国5大学との合同で行うプログラムであるため、各協定校との調整により日程が変更されることがあります。
- ※ ZOOMでのオンライン交流の際には、カメラ・マイクをオンにできる場所から参加してください。
- ※ 所属キャンパス以外のキャンパスやフィールドワーク先への交通費は自己負担となります。

応募から参加までの流れ

国際交流 ガイダンス	担当教員によるガイダンスが、オンデマンド動画として用意してあります。 下記 URL または、右の QR コードからアクセスし、視聴してください。 https://commons.i.muc.meiji.jp/em/6238b431ec091	
ガイダンス動画		
応募方法	Oh-o!Meiji のアンケート一覧にある「国際交流(インドシナ)応募フォーム」から応募してください。	
応募期間	4月11日(月)～4月18日(月) 午前9時	
選考方法	上記「国際交流(インドシナ)応募フォーム」への入力内容に基づき選考する。	
選考結果発表	4月26日(火) Oh-o!Meiji にてお知らせ	
履修登録	学部事務室で「国際交流」の履修登録を行います。	

その他

- ・プログラム参加中に写真・ビデオ撮影をします。撮影した画像・映像は、明治大学の広報活動に使用されることがあります。申し込みをした時点で、その旨同意したものとみなします。
- ・次年度募集時に、参加者向け説明会にて報告をお願いすることがあります。
- ・「国際交流」は、科目名の()内が異なれば在学中複数履修することができます。また、日程上に明らかな支障がない場合に限り、同年度内に複数回の履修も可能です。

情報コミュニケーション学部 「国際交流」ホームページ	http://www.meiji.ac.jp/infocom/office/shorttermexchange.html ※最新の情報については、ホームページから確認してください。
問い合わせ先	情報コミュニケーション学部事務室(和泉・駿河台) 【開室時間】平日9時～11時30分、12時30分～18時 土曜9時00分～12時30分